

iFreeWallet メキシコペソ (MXN)

運用報告書(全体版)

第1期

(決算日 2025年11月19日)

(作成対象期間 2024年11月20日～2025年11月19日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあざかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、メキシコ・ペソ建ての債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（設定日：2024年11月20日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	メキシコ短期債券マザーファンドの受益証券
	メキシコ短期債券 マザーファンド	I. メキシコ・ペソ建ての債券 口. 日本国債 ハ. 外国為替予約取引
組入制限	ベビーファンドの マザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの 株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

設定以来の運用実績

決算期 (分配落)	基準価額		公社債組入比率	債券先物比率	純資産額
	税込分配金	期中騰落率			
1期末(2025年11月19日)	円 11,964	円 0	% 19.6	% 83.6	% — 百万円 41

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

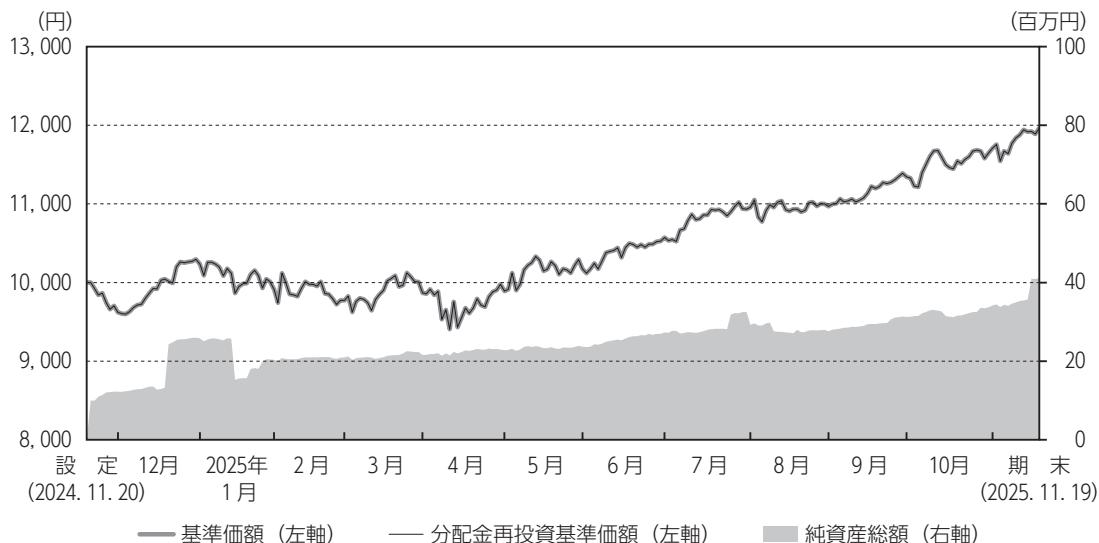
(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指標がないため、ベンチマークおよび参考指標を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期 末：11,964円（分配金 0円）

騰落率：19.6%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

メキシコ短期債券に投資した結果、投資している債券の価格上昇やメキシコ・ペソが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

iFreeWallet メキシコペソ (MXN)

年月日	基準価額	騰落率	公社債組入比率	債券先物比率
(期首) 2024年11月20日	円 10,000	% —	% —	% —
11月末	9,621	△ 3.8	93.9	—
12月末	10,235	2.4	93.9	—
2025年1月末	9,911	△ 0.9	92.5	—
2月末	9,772	△ 2.3	93.4	—
3月末	9,867	△ 1.3	56.4	—
4月末	9,891	△ 1.1	53.1	—
5月末	10,175	1.8	52.5	—
6月末	10,573	5.7	55.5	—
7月末	10,957	9.6	64.1	—
8月末	10,968	9.7	67.7	—
9月末	11,344	13.4	66.8	—
10月末	11,706	17.1	96.3	—
(期末) 2025年11月19日	11,964	19.6	83.6	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2024. 11. 20 ~ 2025. 11. 19)

■メキシコ債券市況

メキシコ短期金利は低下（債券価格は上昇）しました。

メキシコ債券市場では、当成期首より、中央銀行がインフレの落ち着きや軟調な経済環境を背景に継続的に利下げを実施したことなどから、メキシコ短期金利は低下基調となりました。

■為替相場

メキシコ・ペソは対円で上昇（円安）しました。

当成期首から2025年4月半ばにかけては、日銀の利上げ観測が高まったことや、米国の関税政策により市場のリスク回避姿勢が強まることなどから円高が進み、メキシコ・ペソは対円で下落（円高）しました。しかしその後は、貿易交渉の進展を背景に市場のリスク選好が強まることに加え、自民党総裁選挙において財政拡張や金融緩和を志向する高市氏が総裁に選出されたことなどを背景に円安が進行したことで、メキシコ・ペソは対円で上昇しました。

ポートフォリオについて

(2024. 11. 20 ~ 2025. 11. 19)

■当ファンド

当成期を通じて「メキシコ短期債券マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

■メキシコ短期債券マザーファンド

メキシコ・ペソ建ての短期債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

運用にあたっては、残存期間が1年以下のメキシコ・ペソ建ての短期債券に投資することを基本としました。

為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送させていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期
	2024年11月20日 ～2025年11月19日
当期分配金（税込み）(円)	—
対基準価額比率 (%)	—
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,964

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計算上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「メキシコ短期債券マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■メキシコ短期債券マザーファンド

今後もメキシコ・ペソ建ての短期債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

運用にあたっては、残存期間が1年以下のメキシコ・ペソ建ての短期債券に投資することを基本とします。

為替に関しては、実質外貨比率を高位に保つことをめざします。

1万口当りの費用の明細

項目	当期 (2024.11.20～2025.11.19)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	25円	0.242%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,480円です。
(投信会社)	(12)	(0.110)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(12)	(0.110)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	17	0.159	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保管費用)	(10)	(0.096)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(6)	(0.055)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	42	0.401	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

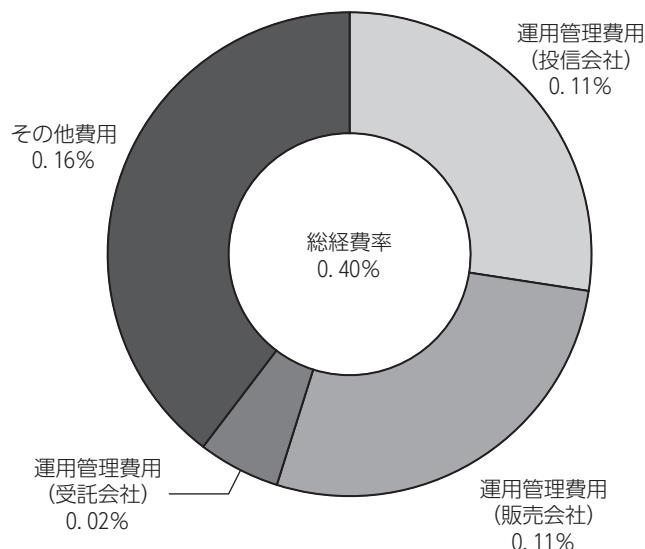
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入しています。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.40%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年11月20日から2025年11月19日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
メキシコ短期債券マザーファンド	57,579	59,794	23,590	24,538

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

設定時保有額	当作成期中 設定額	当作成期中 解約額	当作成期末 保有額	取引の理由
百万円 10	百万円 —	百万円 —	百万円 10	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	口 数	評 価 額
メキシコ短期債券マザーファンド	千口 33,989	千円 40,708

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年11月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
メキシコ短期債券マザーファンド	千円 40,708	% 98.8
コール・ローン等、その他	511	1.2
投資信託財産総額	41,220	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したもので。なお、11月19日における邦貨換算レートは、1メキシコ・ペソ=8.478円です。

(注3) メキシコ短期債券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(40,191千円)の投資信託財産総額(41,554千円)に対する比率は、96.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年11月19日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	41,220,740円
コール・ローン等	511,765
メキシコ短期債券マザーファンド (評価額)	40,708,975
(B)負債	59,753
未払解約金	23,198
未払信託報酬	35,413
その他未払費用	1,142
(C)純資産総額 (A - B)	41,160,987
元本	34,403,159
次期繰越損益金	6,757,828
(D)受益権総口数	34,403,159口
1万口当たり基準価額 (C / D)	11,964円

*期首における元本額は10,000,000円、当作成期間中ににおける追加設定元本額は57,647,384円、同解約元本額は33,244,225円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は11,964円です。

■損益の状況

項目	当期
(A)配当等収益 受取利息	648円 648
(B)有価証券売買損益 売買益 売買損	4,239,138 5,448,457 △ 1,209,319
(C)信託報酬等	△ 61,825
(D)当期損益金 (A + B + C)	4,177,961
(E)追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額)	2,579,867 (508) (2,579,359)
(F)合計 (D + E) 次期繰越損益金 (F)	6,757,828 6,757,828
追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額)	2,579,867 (508) (2,579,359)
分配準備積立金	4,177,961

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	636円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	4,177,325
(c) 収益調整金	2,579,867
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	6,757,828
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	6,757,828
(h) 受益権総口数	34,403,159□

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

(運用報告書に記載すべき事項の提供)

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<変更後>

(運用状況にかかる情報の提供)

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求がであった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

メキシコ短期債券マザーファンド

運用報告書 第1期 (決算日 2025年11月19日)

(作成対象期間 2024年11月20日～2025年11月19日)

メキシコ短期債券マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	<input checked="" type="checkbox"/> イ. メキシコ・ペソ建ての債券 <input type="checkbox"/> ロ. 日本国債 <input type="checkbox"/> ハ. 外国為替予約取引
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

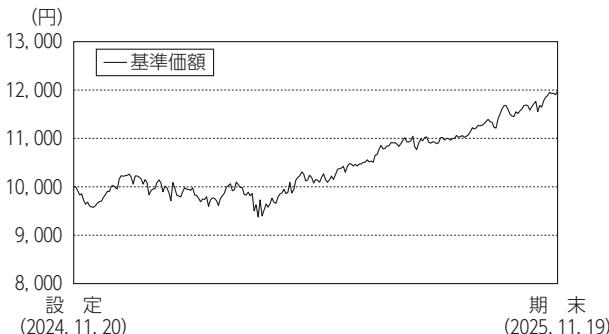
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

メキシコ短期債券マザーファンド

■当成期中の基準価額と市況等の推移



《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時：10,000円 期末：11,977円 謄落率：19.8%

【基準価額の主な変動要因】

メキシコ短期債券に投資した結果、投資している債券の価格上昇やメキシコ・ペソが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○メキシコ債券市況

メキシコ短期金利は低下（債券価格は上昇）しました。

メキシコ債券市場では、当成期首より、中央銀行がインフレの落ち着きや軟調な経済環境を背景に継続的に利下げを実施したことなどから、メキシコ短期金利は低下基調となりました。

○為替相場

メキシコ・ペソは対円で上昇（円安）しました。

当成期首から2025年4月半ばにかけては、日銀の利上げ観測が高まったことや、米国の関税政策により市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから円高が進み、メキシコ・ペソは対円で下落（円高）しました。しかしその後は、貿易交渉の進展を背景に市場のリスク選好が強まることに加え、自民党総裁選挙において財政拡張や金融緩和を志向する高市氏が総裁に選出されたことなどを背景に円安が進行することで、メキシコ・ペソは対円で上昇しました。

◆ポートフォリオについて

メキシコ・ペソ建ての短期債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

運用にあたっては、残存期間が1年以下のメキシコ・ペソ建ての短期債券に投資することを基本としました。

為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

《今後の運用方針》

今後もメキシコ・ペソ建ての短期債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

運用にあたっては、残存期間が1年以下のメキシコ・ペソ建ての短期債券に投資することを基本とします。

為替に関しては、実質外貨比率を高位に保つことをめざします。

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	円	%		
(期首) 2024年11月20日	10,000	—	—	—
11月末	9,600	△ 4.0	94.4	—
12月末	10,203	2.0	94.4	—
2025年1月末	9,881	△ 1.2	93.0	—
2月末	9,742	△ 2.6	93.9	—
3月末	9,840	△ 1.6	56.7	—
4月末	9,862	△ 1.4	53.4	—
5月末	10,151	1.5	52.8	—
6月末	10,557	5.6	55.8	—
7月末	10,951	9.5	64.5	—
8月末	10,964	9.6	68.1	—
9月末	11,346	13.5	67.2	—
10月末	11,713	17.1	96.8	—
(期末) 2025年11月19日	11,977	19.8	84.5	—

(注1) 謄落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

(注3) 債券先物比率は賃建比率－売建比率です。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指標を記載しておりません。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	一円
有価証券取引税	一
その他費用 (保管費用)	16 (10)
(その他)	(6)
合計	16

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公社債

(2024年11月20日から2025年11月19日まで)

外 国	メキシコ	国債証券	買付額	売付額
			千メキシコ・ペソ 8,046	千メキシコ・ペソ 1,390 (2,680)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2024年11月20日から2025年11月19日まで)

当期		売付	
買付	金額	銘柄	金額
銘柄	金額 千円	銘柄	金額 千円
Mexican Bonos (メキシコ) 5.75% 2026/3/5 MEXICAN BONOS (メキシコ) 5% 2025/3/6	31,358 30,483	MEXICAN BONOS (メキシコ) 5% 2025/3/6	10,409

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国(外貨建) 公社債(通貨別)

作成期	区分	額面金額	当期		期末		残存期間別組入比率		
			評価額	組入比率	うちB格以下組入比率	5年以上	2年以上	2年末	%
	メキシコ	千メキシコ・ペソ 4,080	千メキシコ・ペソ 4,057	千円 34,403	% 84.5	% —	% —	% —	% 84.5

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国(外貨建) 公社債(銘柄別)

区分	銘柄	種類	年利率	額面金額	当期		償還年月日
					評価額	外貨建金額	
メキシコ	Mexican Bonos	国債証券	% 5.7500	千メキシコ・ペソ 4,080	千円 4,057	千円 34,403	2026/03/05

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

メキシコ短期債券マザーファンド

■投資信託財産の構成

2025年11月19日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 34,403	% 82.8
コール・ローン等、その他	7,150	17.2
投資信託財産総額	41,554	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したもので
す。なお、11月19日における邦貨換算レートは、1メキシコ・ペソ=8.478円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(40,191千円)の投資信託財産総額(41,554千円)に対する比率は、96.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年11月19日現在

項目	当期末
(A)資産	41,554,176円
コール・ローン等	6,745,486
公社債(評価額)	34,403,572
未取利息	322,934
前払費用	82,184
(B)負債	844,037
未払金	844,037
(C)純資産総額(A-B)	40,710,139
元本	33,989,292
次期繰越損益金	6,720,847
(D)受益権総口数	33,989,292口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,977円

*期首における元本額は9,950,000円、当造成期間中における追加設定元本額は47,629,622円、同解約元本額は23,590,330円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
iFreeWallet メキシコペソ(MXN) 33,989,292円

*当期末の計算口数当たりの純資産額は11,977円です。

■損益の状況

当期 自 2024年11月20日 至 2025年11月19日

項目	当期
(A)配当等収益	1,067,228円
受取利息	1,067,133
その他収益金	95
(B)有価証券売買損益	4,423,780
売買益	4,952,825
売買損	△ 529,045
(C)その他費用	△ 37,422
(D)当期損益金(A+B+C)	5,453,586
(E)解約差損益金	△ 947,803
(F)追加信託差損益金	2,215,064
(G)合計(D+E+F)	6,720,847
次期繰越損益金(G)	6,720,847

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告

書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。(下線部を変更)

<変更前>

(運用報告書)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。

<変更後>

(運用状況にかかる情報)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。